

令和 6 年度 学校評価書【学校運営協議会用】(計画段階)

福岡県立

田川科学技術

高等学校

85

<p>スクール・ミッション (本校の存在意義や社会的役割 目指すべき学校像)</p>	<p>実践力を養う実学重視の教育活動を通して、地域に貢献し、地域から愛される人材を育成する総合型産業高校</p>	
<p>スクール・ポリシー (三つの方針)</p>	<p>グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に 関する方針)</p>	<p>○産業人としてチームワークを大切に、責任感をもち、心身共にたくましく生き抜く力を持つ人材の育成。 ○未来に向かって夢や志をもち、目標に向かって意欲的に学び、自信や誇りをもって活動する力や他者への思いやり、命を大切にす る心を持った人物の育成。</p>
	<p>カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に 関する方針)</p>	<p>○インターンシップの充実、地域と連携したキャリア教育の推進(学校行事としての位置付け)。 ○きめ細かな指導による基礎・基本の定着を図るとともに、技術・技能の実践的な学習の充実。 ○地域と連携し、地域の教育資源や自然環境を活用した学習や新しい技術を積極的に導入するとともに、学校で学んだことを地域や 小・中学校に還元するなど、地域に根差した教育活動の充実と地域貢献活動の推進。</p>
	<p>アドミッション・ポリシー (入学者の受け入れに 関する方針)</p>	<p>○未来に大志を抱き、自分の夢を持って、最後まであきらめない気持ちで自らの進路決定を粘り強く頑張る生徒(自分の夢を探すため に、一人の力でも学び続けることのできる生徒)。 ○地域産業に貢献できるように努力する生徒。 ○人権感覚豊かで、生きる力や創造力を実践的に身に付けようとする生徒。 ○就職希望や就職と進学のとちらも視野に入れている生徒。</p>

<p>学校運営計画(4月)</p>			
<p>学校運営方針</p>	<p>開校からの建学の精神を継承し、本校の基本方針を中心に据え、教育活動において基礎・基本を大切に、心豊かで意欲があり、地域社会に貢献できる人材育 成を目指すことにより、保護者や地域に信頼され、支援される学校づくりをおこなう。</p>		<p>評価 (総合)</p>
<p>昨年度の成果と課題</p>	<p>年度重点目標</p>	<p>具体的目標</p>	
<p>進路実現、観点別評価の基盤づく りと共にICT活用推進を柱とした授 業改善への取組が進んだことが大 きな成果となる。 今年度は、コミュニティ・スクール を定着させ、かつ創立20周年の節 目の年となる。これまで以上に、地 域と連携し生徒が学ぶことの喜び や達成感を持つことができるよう体 験型の学習や校外活動の充実を目 指して地域に必要とされる学習内容 を構築する必要がある。</p>	<p>授業規律の確立とわかる授業等による基礎・基本の定着</p>	<p>授業規律の確立に努め、ICT機器等を活用し、生徒の興味関心を引き出すわかる授業づくりを行い、基礎学力 の向上や実践的創造力の高揚、知識・技能の習得を図る。また、資格・検定試験の奨励等により、自ら学ぶ意欲 や態度を育てる。</p>	
	<p>豊かな人権感覚を養う、安全・安心で充実した学校生活</p>	<p>人権が尊重される学校づくりに努め、命と健康、安全を大切に教育活動を行う。また、生徒会活動や学校行 事、部活動をおして、本校生徒としての誇りと自覚を持たせる。さらに、合理的配慮を理解させ、充実したインク ルージブ教育を推進する。</p>	
	<p>道徳教育の推進による、生徒一人ひとりの自信と誇りの向上</p>	<p>社会人として求められる人材となれるよう、時間の厳守や身だしなみ(服装頭髪)、マナー(挨拶、言葉遣い、態 度等)指導を強化し、基本的な生活習慣を身に付けさせる。また、一人ひとりの教育的ニーズを把握し、就学支援 の充実や特別支援教育を推進する。</p>	
	<p>生徒の情報共有を基にした、組織的・機動的な教育活動の推進</p>	<p>SCやSSWの外部機関、分掌・学年・学科間等教員間の連携、さらには家庭との連携を強化し、教育相談等 の生徒理解により、中途退学等の防止に努める。</p>	
	<p>実践的、体験的な教育活動の推進「田川地区小中高等学校間連携」</p>	<p>コミュニティ・スクールを軌道に乗せ、本校独自の各学科・各専攻の特色を生かした作品制作、物品販売、ものづ くり教室等を効果的に活用し、地域に密着した活動を行うとともに、田川地区県立4校合同の地域連携を図る。</p>	
<p>開校20周年を迎え、自覚と誇りの高揚と実学を重視した教育活 動の推進</p>	<p>20周年の節目を迎え、授業や学校行事、部活動など本校の教育活動を積極的に発信し、魅力を伝えるととも に、本校生徒としての自覚を持ち、希望進路の実現に努めるよう体系的な指導体制を構築する。</p>		

様式4

評価項目	具体的目標	具体的方策	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の項目等	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の結果等
学務部	○基礎学力の定着と専門的知識の向上 ○観点別評価の定着	計画的な学習習慣を確立させ、学習の自己調整力を確立させる。 地域の教育資源や自然環境を活用し、3学科の専門性を活かした教育活動を行う。 観点別評価の定着と推進を図り、授業改善に努める。	○授業アンケート	
	○生徒・職員ICT活用推進 ○教員の資質・能力向上のための職員研修の充実	公開授業週間を設定・実施し、授業改善につなげる。 職員研修でchromebookを積極的に活用し、授業等の活用に役立てる。 職員間における業務連絡等に学校ポータルサイトを積極的に活用するよう整備する。	○授業アンケート	
生徒部	○規範意識の育成を図り、自ら考え、自ら行動できる生徒の育成 ○生徒会と連携し、生徒主体の活動の充実と各種委員会活動の活性化	規範意識育成のため、生徒の実態に応じた講演会等を計画的に実施する。 学校生活を基盤とした規則の遵守、生活マナーの徹底を目指し、機会を捉えた指導、生徒自ら行動の改善を図る。 生徒の主体的な活動を目指し、委員会活動の充実と活性化を図る。	○いじめについてのアンケート ○家庭用チェックリスト ○学校生活アンケート	
	○美化意識の育成を図り、校内美化の保持と徹底 ○基本的感染対策の継続と場所・時期に応じた予防意識の醸成	掃除時間のBGM放送により美化意識を高める。 掃除分担区域の周知を図り、用具の補充を随時行う。 感染状況に応じた対策を工夫し、安心・安全な環境を作る。	○保健アンケート ○健康の記録(1, 2, 3年)	
進路部	○生徒の希望進路実現を目的としたキャリア教育の充実 ○生徒の学力と進路意識向上	「キャリア・パスポート」を活用し、生徒の自己理解を深め、進路意識を高める。 企業や大学・専門学校等との連携を深め、地元へ貢献できる人材の育成を目指す。 学年・学科と連携し、インターンシップの充実を図る。	○進路希望調査	
	○式典等学校行事の円滑な企画・運営 ○広報活動の充実	式典等学校行事の計画的な実施と共にPTA・同窓会との協力・連携体制を強める。 ホームページの更新を積極的に行い、学校行事等を中学校・地域へ広報する。 3学科それぞれの専門性を活かした中学校訪問や出前授業を行うことで広報活動の充実を図る。	○学校生活アンケート	
人権・同和教育部	○差別やいじめを許さない人権感覚の醸成	人権教育全体計画を柱に、人権・部落問題学習や職員研修に計画的に取り組む。 人権委員会の定例的な開催を通して、生徒の自主的な活動を進める。 学校生活アンケート・いじめアンケートを行い、生徒が訴えやすい環境を整え、問題を早期に発見する。	○学校生活アンケート ○いじめアンケート ○新入生人権意識調査 ○卒業生人権意識調査	
	○特別な支援を必要とする生徒への支援の充実 ○修学保障、進路保障の充実	教育相談委員会に十分な情報提供・情報交換を行うことで組織的な生徒支援へつなげる。 SC、SSW、外部機関と十分な連携を図り、生徒・保護者に必要な支援を行う。 経済的に修学が困難な家庭に対し、学年と連携し負担軽減につながる手続きやサポートを行う。	○学校生活アンケート ○いじめアンケート ○新入生人権意識調査 ○卒業生人権意識調査	